

自治体新電力会社「株式会社いなしきエナジー」設立について

令和 5 年 1 月 26 日

令和 5 年 1 月 26 日に、稲敷市（市長：笥信太郎）、パシフィックパワー株式会社（代表取締役：合津美智子）、株式会社常陽銀行（代表取締役：秋野哲也）、株式会社筑波銀行（代表取締役：生田雅彦）、茨城県信用組合（代表理事：渡邊武）の共同出資により、自治体新電力会社「株式会社いなしきエナジー」を設立しました。

株式会社いなしきエナジーは、令和 5 年 1 月 26 日にゼロカーボンシティ宣言を行った稲敷市の地域エネルギー会社として、市域の脱炭素を進めてまいります。また、電力販売事業に留まらず、地域エネルギーサービス「創エネ・エネマネ・省エネ」の事業を通じて、環境・経済・社会の 3 側面における新しい価値創造や好循環を生み出す稲敷市の持続可能な SDG s 実現に貢献します。

<会社概要>

| | | | |
|------|---|--------|-------|
| 会社名 | 株式会社いなしきエナジー | | |
| 所在地 | 茨城県稲敷市犬塚 1570 番地 1 （稲敷市役所内） | | |
| 資本金 | 870 万円 | | |
| 設立日 | 令和 5 年 1 月 26 日 | | |
| 出資者 | 稲敷市 | 500 万円 | 57.5% |
| 出資額 | パシフィックパワー株式会社 | 260 万円 | 29.9% |
| 出資比率 | 株式会社常陽銀行 | 40 万円 | 4.6% |
| | 株式会社筑波銀行 | 40 万円 | 4.6% |
| | 茨城県信用組合 | 30 万円 | 3.4% |
| 役員 | 代表取締役社長 笥 信太郎（稲敷市長） 代表取締役 宮川 稔子（パシフィックパワー株式会社 経営管理部長） 監査役 田所 喜久雄（株式会社常陽銀行 江戸崎支店 支店長） | | |
| 事業目的 | 稲敷市内において、エネルギーの側面から、環境・経済・社会に好循環を生み出す。特に、官民連携のもと、地域エネルギーサービス事業として「創エネ・エネマネ・省エネ」を力強く推進し、SDG s の実現に寄与していく | | |

<事業概要>

| | |
|----------------------|---|
| 主な事業内容 | 1) 小売電気事業およびその仲介・取次事業 2) 発電事業 3) 送配電事業 4) 熱供給及び熱利用事業 5) エネルギー事業全般に関する役務およびサービスの提供 6) エネルギー資源、エネルギー全般および環境価値全般の取引事業に関する業務 7) エネルギー事業全般に係る機器、設備及びエネルギー・システムの開発、販売、レンタル、設計、施工、管理、運転及び保守 8) 省エネルギー事業 9) 前各号の事業及び環境保全に関するエンジニアリング、コンサルティング及び技術・ノウハウ・情報の販売 10) 新事業やまちづくりなど地域振興に関するコンサルティング及び事業 11) 前各号に附帯関連する事業 |
| 供給開始日 | 令和5年10月開始予定 |
| 事業規模 (予定) | 4,764kW (当初は稲敷市の高圧公共施設を中心に電力を供給予定) 7,500MWh/年間 (第3期目の電力需要量を想定) |

【問い合わせ先】

株式会社いなしきエナジー

(業務委託先：パシフィックパワー株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地)

電話：03-5244-5423

メール：member@pacific-power.co.jp